

2025年度 フィールドスタディーズ受入機関および学修テーマ

受入機関名〈五十音順〉		学修テーマ
加茂市役所		【新潟大学×加茂市×メルカリ】 メルカリShopsを活用した循環型社会推進プロジェクト
新潟経済同友会	株式会社 たかだ	新潟の未来と住まいづくり
	福田道路 株式会社	働く環境を改善し、well-beingの実現 ～福田道路のwell-being～
	ヤマト運輸 株式会社	三条と会津を結ぶ、新たな観光アイデアの提案
新潟市教育委員会 東地区公民館		「沼垂地域」を活性化する事業の企画提案
新潟市農林水産部 農村整備・水産振興課		西区にある新川漁港の活用や水産物を 「知って・感じて・広げる」ためのアイデア提案
新潟市水族館 マリンピア日本海		マリンピア日本海の魅力をZ世代に伝えて、 たくさん来館してもらおう！
一般社団法人 農村振興センターみつけ		国の交付金事業を活用した農業・農村活性化事業における 環境調査と新たな地域ブランドを活用した販売
フリュー 株式会社		現代の多様化する遊びとして「思い出」を残す 新たなシーンの提案
宮内摂田屋method		地域振興にむけたオルタナティブスペースとしての 宮内駅の利活用



■問い合わせ先

新潟大学創生学部

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL.025-262-6998（創生学部学務係）
<https://create.niigata-u.ac.jp>



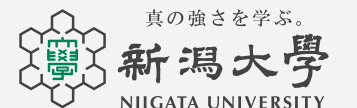
新潟大学創生学部
ホームページQRコード



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

（2025年5月発行）

新潟大学 創生学部 フィールドスタディーズ



FIELD-BASED
STUDIES
NIIGATA UNIVERSITY
COLLEGE OF CREATIVE STUDIES

フィールドスタディーズとは？

学生が企業や自治体など、学外のフィールドに赴き、グループで活動を行う授業です。グループごとに現場の方々のサポートを得ながら課題を発見し、学生主体の企画や提案を行います。一連のプロセスによって、社会の課題を体感し、大学での学修意識の転換を図ります。授業は学外で行う4週間のフィールドワークのほか、学内で行う事前・事後学修によって構成されています。

フィールドスタディーズで身につく力

協働する力・
対話力



課題発見・
分析力



挑戦する
態度・姿勢



学生受入機関担当者からメッセージ

加茂市役所
(受入：2024年度)



加茂市の花 雪椿 とりばのこーちゃん

2024年度のテーマは「Z世代に刺さる加茂市の魅力とその伝え方を考えよう！」でした。学生の皆様からは、自ら加茂市の街を巡り、その魅力を見つけ、効果的な発信の仕方を考えていただきました。市役所の業務は多岐にわたっており、FS中にきっと新たな発見があるはずです。北越の小京都と呼ばれる加茂市の自治体行政について、一緒に学んでみませんか。そして、加茂市がお気に入りの街になれば、なお嬉しいです。

ヤマト運輸 株式会社
(受入：2023年度、2024年度)



ヤマト運輸は生活に身近な宅急便以外に、全国の自治体や事業者と協力して地域課題の解決に取り組んでいます。今までのフィールドスタディーズでは「ふるさと納税」「過疎地の医療課題」といったことを皆さんと一緒に考えてきました。自分が育った環境以外のことを深く知ることがこれからの大学での学びにも役立ちます。そして皆さんの学習成果やアイデアは、全国の地方社会の未来を拓く機会になるかもしれません。

新潟市教育委員会 東地区公民館
(受入：2024年度)



当館は、地域課題に向き合い、学びの場を充実し、安心して暮らせる地域づくりを支える公民館です。2024年度FSで、学生の皆さんは「地域活性化支援事業」を企画実践し、空き家を使ったリサイクルショップやウェブサイトを作成しました。短期間での取り組みですが、FSを通じて、失敗を恐れない挑戦する力、柔軟な発想力、チーム活動での合意形成力等がつき、社会における貴重な経験になると思います。「古くて新しいまち沼垂」一緒に未来を創っていきましょう。

授業の流れ（火・水・木曜日9：00～17：00 全8週間）

事前学修（2週間）



1週目

- 授業ガイダンス
- 全体レクチャー
- チーム編成

2週目

- 個人目標設定
- フィールド事前調査
- グループ目標設定

学外学修（4週間）



3週目

- フィールドに関するレクチャー・グループ単位での活動を行う。（1グループ3～5名）

4週目

- 各フィールドでの学修・学修内容や課題は協力機関ごとに設定する。
- ・現地調査、ヒアリング、ディスカッションなどを行う。
- ・学外での活動を中心とするが、必要に応じて学内での活動も行う。

5週目

6週目

- 学外学修のまとめ・各フィールドでの成果を報告し、現場の方々から学ぶ。



事後学修（2週間）



7週目

- グループでの学修成果のまとめ（プレゼン準備）

8週目

- 学内報告会の実施
- レポート提出